

2025 年度 私費外国人留学生選抜

小 論 文

2 月 25 日 (火) 情 報 学 部 (情報社会学科) 9:30 ~ 11:30

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙（2 枚）に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、3 ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて別紙解答用紙に記入しなさい。（下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は、採点対象となりません。）
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

・書き出し・改行後は、一マスあけない。 ・句読点なども 1 文字と数える。 ・英数字は一マスに 2 文字入れてよい。
--
- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率（%）で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

次の文章は『わからない世界と向き合うために』（中屋敷均著，ちくま書房，2024 年）の一部です。よく読んであとの問いに答えなさい。なお，問題作成のために文章を一部改編しました。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| (注1) 辟易 (へきえき) | うんざりすること |
| (注2) 老舗 (しにせ) | 古くから続いている店 |
| (注3) 閑古鳥 (かんこどり) が鳴く | 客が来ない様子 |
| (注4) 淘汰 (とうた) | 不要なものを取り除くこと |
| (注5) 跳梁跋扈 (ちょうりょうばっこ) | 悪人が好き勝手にふるまうこと |

問1 下線部「実際、この世には「3.6 点のラーメン」などという概念化されたラーメンは存在しません」とはどのようなことか、150 字以内で筆者の考えを説明しなさい。
(配点 30%)

問2 「わかりやすい」ことについての筆者の主張を踏まえつつ、情報社会において私たちはこうした「わかりやすさ」とどのように向き合っていくべきか、具体的な例を挙げつつ自分の考えを 500 字以内で述べなさい。
(配点 70%)

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文（私費外国人：令和7年度）	問題番号	
対 象 学 部・ 学科(課程)等	情報学部（情報社会学科）		
出題のねらい	課題文において筆者は、ラーメンの評価等を例として、インターネット等で広く見られる数値や尺度による「わかりやすい」指標と現実との差異を指摘し、その上で「わかりやすい」指標だけで評価してしまうことへの懸念を論じている。この課題文の日本語を正確に読みとる能力、そして課題文の文章を適宜要約しながら設問に的確に答える能力が問われる。		
採 点 基 準	問1（配点30%） 「概念化されたラーメン」という表現をめぐって、現実の個別的なラーメンと数値に置き換えられたラーメンという筆者が問題としている対比を的確に理解し、これを適切な表現で説明することが求められる。 問2（配点70%） 数値や尺度による「わかりやすい」評価が絶対視され、現実の個別性が無視されてしまうことへの著者の懸念を的確に理解しているか。その上で、自らの経験や知識を用いて、著者の論じている「わかりやすさ」や「わかりやすい指標」の利用について、自分自身の考えを論理的に提示することが求められる。		